



屋上には世界最長の200メートルプールがあるマリーナ・ベイ・サンズ

あつたシンガポールは太平洋戦争中、日本が占領した。一九六三年にマレーシア連邦の一員として発足、六五年にシンガポール共和国として独立した。

面積は東京二十三区とほぼ同じ六百九十九平方キロ、人口約五百十万人で、四分の三が中国系なので“華人國家”の異名を持つ。赤道の一度北に位置する東南アジア有数の近代都市国家であり、流通、経済の中心地である。

言つておられたが、自分たちもこんな老夫婦になりたいと思う。さて、シンガポールのガイドが言つたことで驚いたことがある。シンガポールでは土地は私有化されておらず、マンションや一軒家の土地は一代限りで国家との契約とか。日本では親が大地主なら、それは子供の財産となる。「美田を残さず」というか、なかなか進歩的で、人が少しでも平等という考え方はずらやましく感じた。

持ちになり、それが子孫にまで続くのは改めほしいと思う。

ところで我々の泊まつたホテルはショッピングや観光にも便利なマリーナ地区にある。客室が七百七十八もある、三十五階まで吹き抜けのデラックスホテルであったが、さらに抜きのデラックスホテルで、一万六千円追加代金を払うと「マリーナ・ベイ・サンズ」に泊まることができた。

日本のTVC'Mにも流れていたそうで、世界的建築家、モシェ・

A photograph of an elderly couple standing in front of the entrance to the National Orchid Garden in Singapore. The man, wearing a tan blazer, a straw hat, and sunglasses, stands behind the woman. The woman, wearing a dark blue beret and sunglasses, uses a cane. They are positioned in front of a lush display of various orchids, including yellow, pink, and red varieties. To the right, a white sign with black lettering reads "NATIONAL ORCHID GARDEN SINGAPORE".

シンガポール

今回のイントネシア
クルーズの発着地はマ
レーシア半島南端のシ
ンガポール。ツアー参

加者で最高齢と思われ
る老人は「兵隊で来た
時、ここは昭南島と呼
ばれていた」と感慨深
げに言われた。

の旅行社のラウンジに入ると老人は長椅子に横になると、奥様がそいつと自分のコートを掛けられる。年に二、三度、海外を旅行するよ

どこまで正確かはわからないが、さすがに戦後に独立した近代国家だと感心させられる。日本でも相続税だけでなく、金持ちが曾々金

えはマーライオンを連想されるのではあるまいか。上半身がライオン、下半身が魚のマーライオンは□から水をやダイアナ妃の名前のついたランもあつた。人口密度はモナコに次いで世界二位、すべてが人工的な国である。

巡礼の道

30

藤屋 健士
(下松市幸ヶ丘)



名物のマーライオン

サブディによる大胆な
幾十の建物。

はき、近くで見ると意
ト二二七。

昭南島と
つた老人に

サフディによる大胆な
設計の建物だ。

はき、近くで見ると意外に大きい。



国立ラン園の花は見事だった